

地域資源を活用したまちづくり手法の研究

地域資源マネジメント研究科 菊池 義浩



キーワード

都市計画・建築遺産、地域コミュニティ、空間計画

研究概要

近年では、「持続可能性」が広く社会のパラダイムとして浸透しているものの、わが国ではさらなる人口減少や少子高齢化の進行が危惧されており、各地域ではそのブレイクスルーを生み出すために苦慮しているのが実態と受け取れる。このような社会情勢下における地域づくりを推進していくためには、地域に内在する固有の資源をどう活用するのかという視点が必要と考えられる。一例として、現在では都市計画・建築遺産を貴重な地域資源として捉えた住民主体のまちづくり活動が展開されており、受け継がれてきた建物や市街地を活かしながら、新しい価値を生み出していこうとする動きを窺うことができる。そのような取り組みにも着目しながら、縮退社会における地域生活空間の計画手法について探究している。

アピールポイント

本研究室では、農山漁村や地方中小都市を対象に、そこでの生活様式から空間的にみた地域特性と計画手法について探究することを大きな研究テーマとしている。これまでに、東日本大震災の被災地における復興研究や、まちづくりビジョン作成のサポートなどに携わってきた。調査・研究から得られた成果を実践に結び付けることで、地域社会への還元を目指している。

応用分野

- ・既成市街地のリノベーション
- ・災害常襲地における事前復興に向けた計画手法の検討



北但大震災(1925年)の復興建築。3戸一の建物で国登録文化財に登録されている。